

青森県経済統計報告

平成 30 年 10 月 4 日

企画政策部統計分析課

1 青森県の推計人口(平成 30 年 9 月 1 日現在)..... 1

県人口 1,263,723 人 (対前月 483 人減少)	
自然動態	719 人減少 (出生者数 728 人、死亡者数 1,447 人)
社会動態	236 人増加 (転入者数 1,840 人、転出者数 1,604 人)

2 本県の経済動向 (平成 30 年 7 月・8 月の経済指標を中心として)

(1) 経済概況

本県経済は、緩やかに回復している。

(2) 主要経済指標の動向

- (2-1) 生産動向
・平成 30 年 7 月の**青森県鉱工業生産指数**(平成 22 年=100)は、季節調整済指数が 108.3 で、前月比 2.9%の低下となり、2 カ月ぶりに前月を下回った。また、原指数は 112.9 で、前年同月比 0.2%の上昇となり、2 カ月ぶりに前年同月を上回った。 ... 2
- (2-2) 雇用労働
・平成 30 年 7 月の**定期給与**は 223,127 円で前年同月比 0.1%増となった。 ... 3
総実労働時間は 157.6 時間で前年同月比 1.2%減、**所定外労働時間**は 10.5 時間で前年同月比 20.5%減となった。
・平成 30 年 8 月の**有効求人倍率**(季節調整値)は 1.28 倍で、前月と同水準となった。
- (2-3) 物 価
平成 30 年 8 月の**青森市消費者物価指数**(平成 27 年=100)は、総合指数が 101.9 となり、前月比 0.5%の上昇、前年同月比 1.6%の上昇となった。 ... 5
また、生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は 101.7 となり、前月比 0.3%の上昇、前年同月比 0.2%の上昇となった。
- (2-4) 個人消費
・平成 30 年 8 月の**百貨店・スーパー販売額**は、全店舗ベースが 151 億円で前年同月比 1.1%減となり、2 カ月連続で前年同月を下回った。また、既存店ベースでも前年同月比 1.1%減となり、2 カ月連続で前年同月を下回った。 ... 6
・平成 30 年 8 月の軽乗用車を含めた**乗用車新車登録・届出台数**は 2,931 台で、前年同月比 0.4%増となり、8 カ月ぶりに前年同月を上回った。
・平成 30 年 8 月の**観光入込客数**は、主な観光施設が 1,538 千人で前年同月比 0.3%減となり、2 カ月連続で前年同月を下回った。また、主な宿泊施設は 182 千人で前年同月比 0.1%減となり、4 カ月連続で前年同月を下回った。
- (2-5) 建 設
・平成 30 年 8 月の**新設住宅着工戸数**は 530 戸で、前年同月比 7.7%増となり、2 カ月ぶりに前年同月を上回った。 ... 7
・平成 30 年 8 月の**公共工事請負額**は 167 億 9,100 万円で前年同月比 2.9%増となり、2 カ月連続で前年同月を上回った。
- (2-6) 企業倒産
平成 30 年 8 月の**企業倒産**は、件数は 3 件で前年同月と同水準となった。 ... 8
負債総額は 2 億 6,900 万円で前年同月比 31.4%減となった。

(3) 景気動向指数 C I (平成 30 年 7 月分) 9

先行指数	121.7 (前月を 5.2 ポイント下回り、4 カ月連続で下降した)
一致指数	162.1 (前月を 15.3 ポイント下回り、2 カ月ぶりに下降した)
遅行指数	123.1 (前月を 2.5 ポイント上回り、2 カ月連続で上昇した)

1 青森県の推計人口（平成30年9月1日現在）

【概況】

平成30年9月1日現在の本県推計人口は、1,263,723人で、前月に比べ483人の減少となった。

○自然動態

出生者数が728人、死亡者数が1,447人で、719人の減少となった。

○社会動態

転入者数が1,840人、転出者数が1,604人で、236人の増加となった。

総人口の推移

(単位：人)

	総数	男	女	対前月 増減率	増減数	自然 増減数	出生者数	死亡者数	社会 増減数	県外からの 転入者数	県外への 転出者数
昭 45.10.1	1,427,520	685,477	742,043	-	10,929	-	-	-	-	-	-
50.10.1	1,468,646	707,232	761,414	-	41,126	-	-	-	-	-	-
55.10.1	1,523,907	735,444	788,463	-	55,261	-	-	-	-	-	-
60.10.1	1,524,448	731,439	793,009	-	541	-	-	-	-	-	-
平 2.10.1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-	-	-
7.10.1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-	-	-
12.10.1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-	-	-
17.10.1	1,436,657	679,077	757,580	-	-39,071	-	-	-	-	-	-
22.10.1	1,373,339	646,141	727,198	-	-63,318	-	-	-	-	-	-
27.10.1	1,308,265	614,694	693,571	-	-65,074	-	-	-	-	-	-
29. 9. 1	1,278,997	600,700	678,297	-0.065%	-832	-742	669	1,411	-90	1,685	1,775
29.10.1	1,278,581	600,560	678,021	-0.033%	-416	-565	721	1,286	149	1,578	1,429
29.11.1	1,277,949	600,252	677,697	-0.049%	-632	-790	712	1,502	158	1,455	1,297
29.12.1	1,277,086	599,949	677,137	-0.068%	-863	-793	649	1,442	-70	974	1,044
30. 1. 1	1,276,120	599,503	676,617	-0.076%	-966	-831	674	1,505	-135	943	1,078
30. 2. 1	1,274,940	598,945	675,995	-0.092%	-1,180	-1,062	708	1,770	-118	973	1,091
30. 3. 1	1,273,573	598,360	675,213	-0.107%	-1,367	-940	626	1,566	-427	962	1,389
30. 4. 1	1,266,893	594,944	671,949	-0.525%	-6,680	-1,003	617	1,620	-5,677	3,686	9,363
30. 5. 1	1,266,710	595,090	671,620	-0.014%	-183	-819	586	1,405	636	3,392	2,756
30. 6. 1	1,265,855	594,603	671,252	-0.067%	-855	-811	717	1,528	-44	1,369	1,413
30. 7. 1	1,264,956	594,145	670,811	-0.071%	-899	-737	624	1,361	-162	1,109	1,271
30. 8. 1	1,264,206	593,839	670,367	-0.059%	-750	-732	660	1,392	-18	1,645	1,663
30. 9. 1	1,263,723	593,739	669,984	-0.038%	-483	-719	728	1,447	236	1,840	1,604

8月中の人口動態の推移

(単位：人)

年月	20.8	21.8	22.8	23.8	24.8	25.8	26.8	27.8	28.8	29.8	30.8	
自然 動態	出生者数	858	796	826	877	823	781	749	713	803	669	728
	死亡者数	1,129	1,175	1,463	1,327	1,371	1,289	1,281	1,382	1,444	1,411	1,447
	自然増減数	-271	-379	-637	-450	-548	-508	-532	-669	-641	-742	-719
社会 動態	県外からの 転入者数	1,907	2,001	1,977	2,210	1,931	1,854	1,669	1,670	1,752	1,685	1,840
	県外への 転出者数	2,144	1,994	1,867	2,064	1,797	1,780	1,858	1,830	1,733	1,775	1,604
	社会増減数	-237	7	110	146	134	74	-189	-160	19	-90	236
増減数計	-508	-372	-527	-304	-414	-434	-721	-829	-622	-832	-483	

※1 昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17、22、27年は国勢調査人口（確定値）。

※2 平成27年11月1日以降の人口は、平成27年国勢調査人口（確定値 総務省統計局 平成28年10月26日）を基礎に推計している。

※3 増減数は、昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17、22、27年が各々の前回国勢調査、その他が前月推計人口に対するものである。

※4 算出方法

県の推計人口＝前月の人口＋自然増減数（出生者数－死亡者数）＋社会増減数（県外からの転入者数－県外への転出者数）

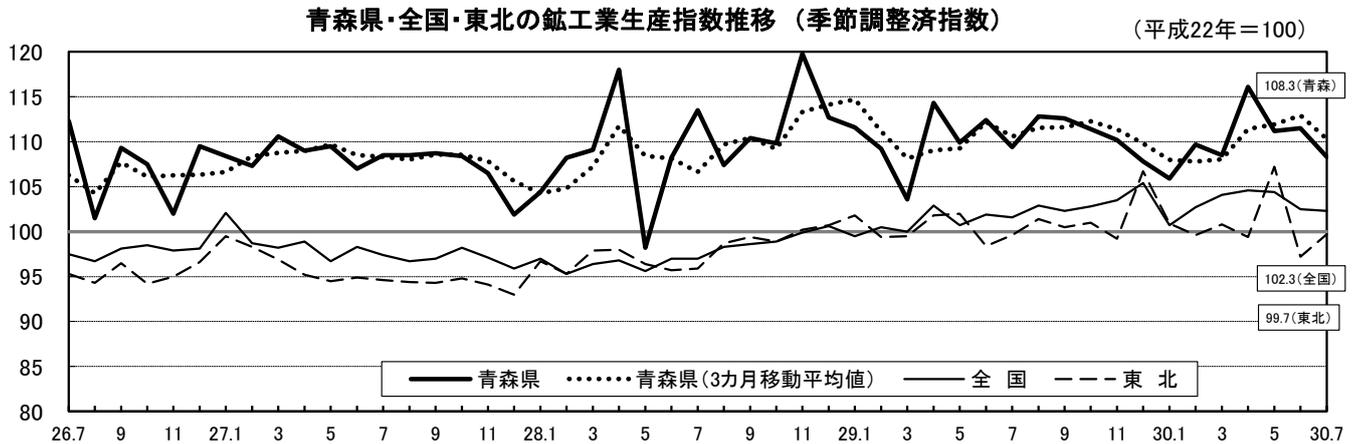
2 本県の経済動向

(2) 主要経済指標の動向

(2-1) 生産動向

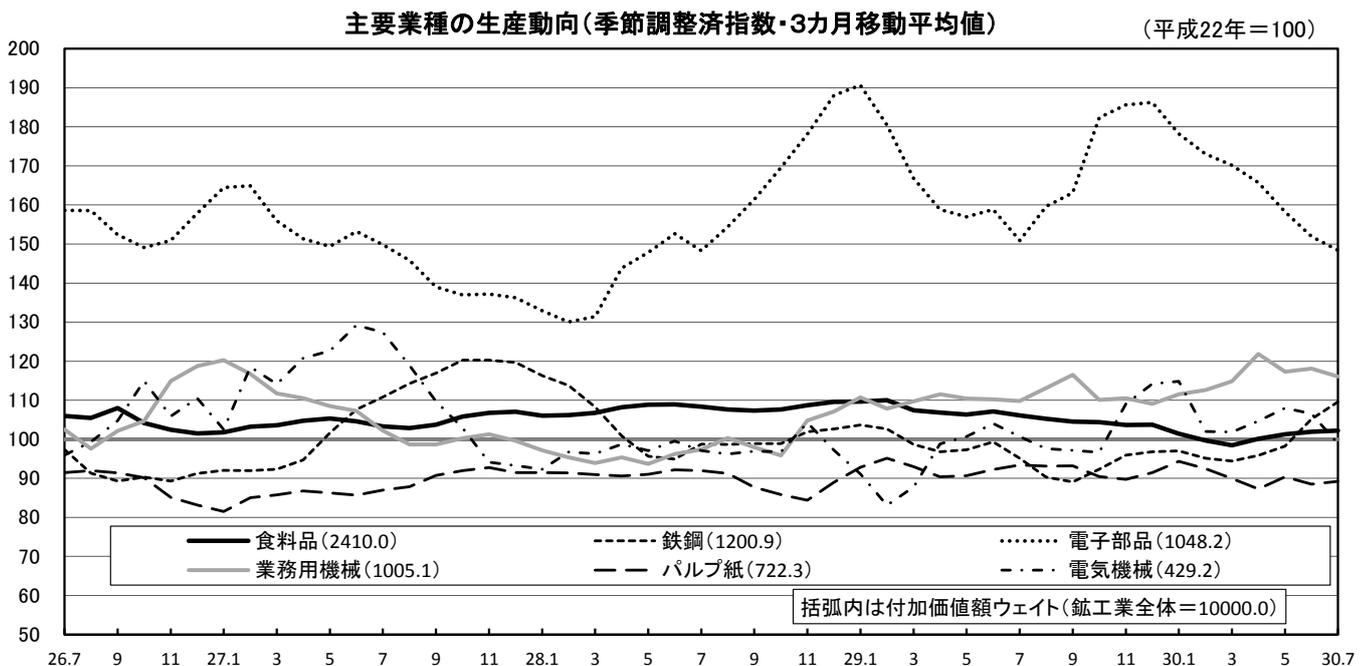
平成30年7月の青森県鉱工業生産指数(平成22年=100)は、季節調整済指数が108.3で、前月比2.9%の低下となり、2カ月ぶりに前月を下回った。また、原指数は112.9で、前年同月比0.2%の上昇となり、2カ月ぶりに前年同月を上回った。

季節調整済指数で前月からの動きをみると、化学工業、食料品工業、石油・石炭製品工業などが上昇に寄与した一方、生産用機械工業、電気機械工業、電子部品・デバイス工業などが低下し、鉱工業全体では2.9%の低下となった。



◎業種別動向 (前月比) 鉱工業全体 -2.9%

プラス			マイナス		
業種	前月比(%)	寄与率(%)	業種	前月比(%)	寄与率(%)
化学工業	82.6	59.2	生産用機械工業	-83.7	-101.6
食料品工業	2.7	20.0	電気機械工業	-24.1	-36.6
石油・石炭製品工業	55.6	8.5	電子部品・デバイス工業	-3.3	-16.1
パルプ・紙・紙加工品工業	3.4	6.4	輸送機械工業	-9.6	-15.0
非鉄金属工業	5.6	6.4	業務用機械工業	-3.3	-12.3



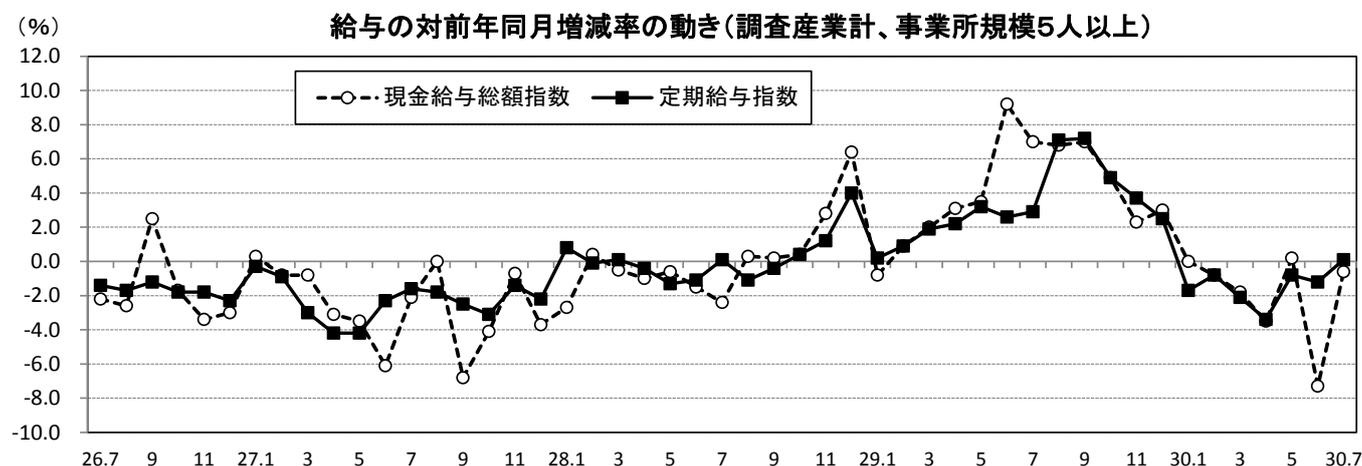
資料：県統計分析課「青森県鉱工業生産指数(速報)」

(2-2) 雇用労働

(2-2-1) 給与・労働時間（毎月勤労統計調査結果）

平成30年7月の定期給与は223,127円で、定期給与指数（平成27年=100）では103.3となり、前年同月比0.1%増と7カ月ぶりの増（現金給与総額273,443円、現金給与総額指数109.0、前年同月比0.6%減）となった。また、実額で比較した定期給与の全国対比は84.4となった。

総実労働時間は157.6時間で、総実労働時間指数は101.9となり、前年同月比1.2%減と2カ月連続の減となった。このうち、所定外労働時間は10.5時間で、所定外労働時間指数は91.3となり、前年同月比20.5%減と6カ月連続の減となった。



資料：県統計分析課「毎月勤労統計調査結果（速報）」

給与及び労働時間の全国との比較（調査産業計、事業所規模5人以上）

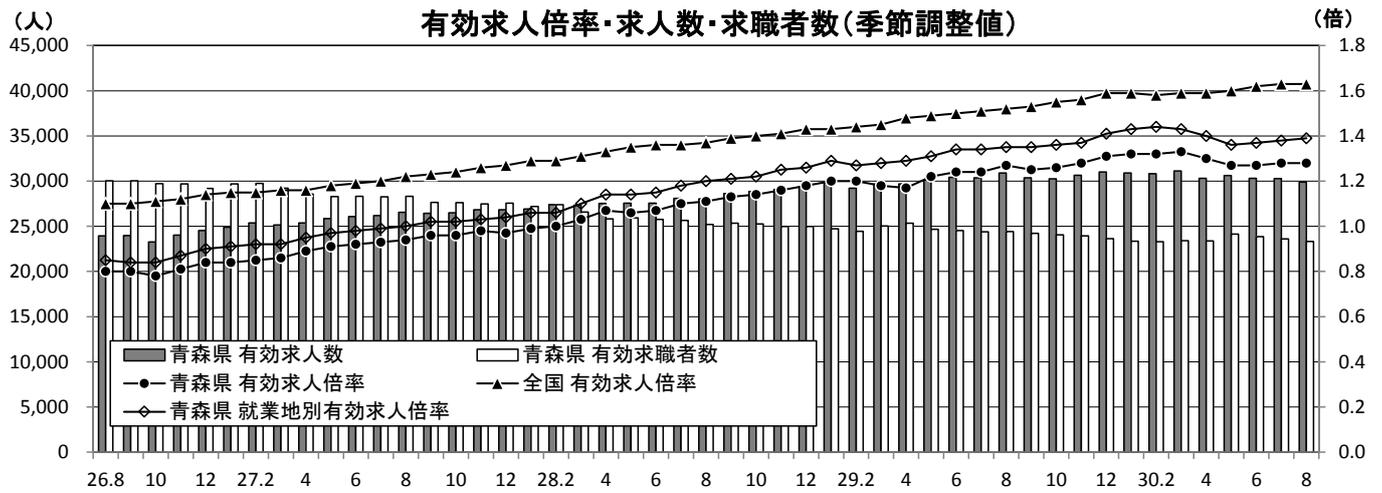
	実 数		指数(H27=100)		対前年同月増減率	
	青森県	全 国	青森県	全 国	青森県	全 国
現金給与総額	273,443 円	376,619 円	109.0	120.2	-0.6 %	1.6 %
定期給与	223,127 円	264,333 円	103.3	102.0	0.1 %	1.1 %
特別給与	50,316 円	112,286 円	—	—	—	2.8 %
総実労働時間	157.6 時間	145.3 時間	101.9	100.6	-1.2 %	-0.4 %
所定内労働時間	147.1 時間	134.7 時間	102.8	100.9	0.6 %	-0.3 %
所定外労働時間	10.5 時間	10.6 時間	91.3	96.4	-20.5 %	-1.8 %

- (注) 1. 「定期給与」とは、あらかじめ定められている支給条件、算定方法によって支給される給与のことで、超過労働給与（所定の労働時間をこえる労働、休日労働、深夜労働に対して支給される給与）を含みます。
2. 「特別給与」とは、給与の差額追給額（ベースアップ分）、3か月をこえる期間単位で支給される住宅手当や通勤手当、賞与（ボーナス）等のことです。
3. 「所定内労働時間」とは、正規の始業時刻と終業時刻との間から休憩時間を差し引いた労働時間のことです。
4. 「所定外労働時間」とは、早出、残業、休日出勤等の労働時間のことです。

資料：県統計分析課「毎月勤労統計調査結果（速報）」

(2-2-2) 有効求人倍率

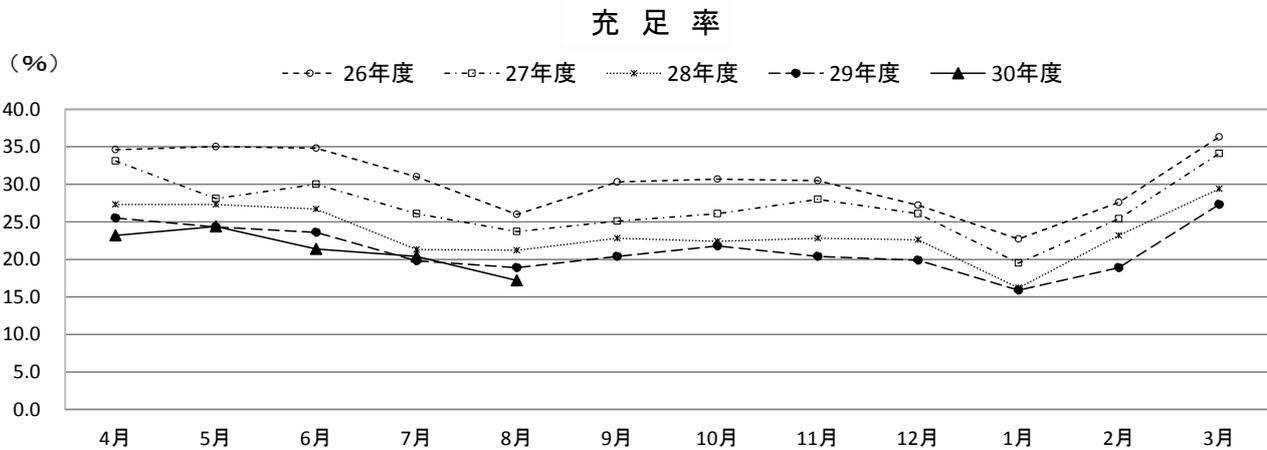
平成30年8月の有効求人倍率(季節調整値)は1.28倍で、前月と同水準となった。就業地別有効求人倍率は1.39倍で、前月を0.01ポイント上回った。



資料: 青森労働局職業安定部職業安定課「職業安定業務取扱月報」、厚生労働省職業安定局雇用政策課「一般職業紹介状況」

(参考) 充足率(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

平成30年8月の充足率は17.2%で、前年同月と比べ1.7ポイント下回った。



資料: 青森労働局職業安定部職業安定課「職業安定業務取扱月報」※充足率=充足数/新規求人数

(2-3) 物価

平成30年8月の青森市消費者物価指数（平成27年=100）は、総合指数が101.9となり、前月と比べ0.5%の上昇、前年同月と比べ1.6%の上昇となった。

生鮮食品を除く総合指数は102.1となり、前月と比べ0.2%の上昇、前年同月と比べ1.3%の上昇となった。

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は101.7となり、前月と比べ0.3%の上昇、前年同月と比べ0.2%の上昇となった。

総合指数が前月と比べ0.5%の上昇となった内訳を寄与度でみると、食料（生鮮魚介など）、教養娯楽（教養娯楽用耐久財など）などの上昇が要因となっている。

総合指数が前年同月と比べ1.6%の上昇となった内訳を寄与度でみると、光熱・水道（他の光熱など）、食料（生鮮野菜など）などの上昇が要因となっている。

図1 総合指数の動き

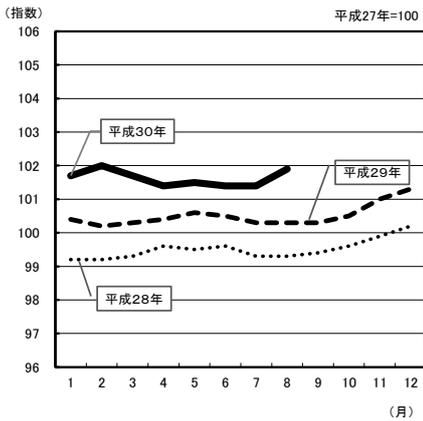


図2 生鮮食品を除く総合指数の動き

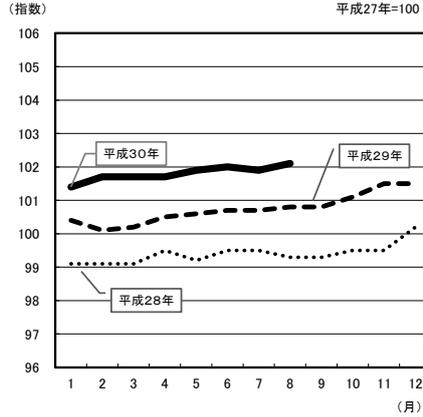
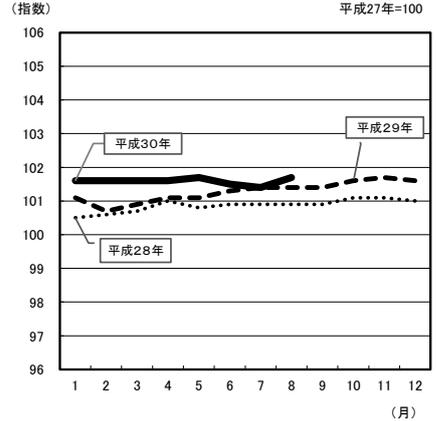


図3 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数の動き



10大費目指数の動き

(平成27年=100)

	総合	生鮮食品を除く総合	生鮮食品及びエネルギーを除く総合	食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合	食料	生鮮食品	住居	光熱・水道	家・具・用品	被及履	服び物	保医	健康	交通・信	教育	教養娯楽	諸雑費
当月指数	101.9	102.1	101.7	100.5	103.9	97.8	99.9	103.1	99.5	97.2	103.5	100.3	102.7	103.7	101.7		
前月比 (%)	0.5	0.2	0.3	0.3	1.2	6.7	0.0	0.1	0.6	▲ 2.1	0.9	0.3	0.0	1.7	0.2		
寄与度	—	0.22	0.23	0.17	0.33	0.29	0.00	0.01	0.02	▲ 0.06	0.04	0.03	0.00	0.13	0.01		
前年同月比 (%)	1.6	1.3	0.2	0.0	1.7	7.9	0.0	6.4	1.5	▲ 0.8	1.5	2.9	0.2	▲ 0.9	0.1		
寄与度	—	1.25	0.17	▲ 0.02	0.48	0.34	0.01	0.68	0.06	▲ 0.02	0.06	0.38	0.01	▲ 0.07	0.01		

資料: 県統計分析課「消費者物価指数 月報」

※ **寄与度**とは、ある費目の指数の変動が、総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示したものであり、全費目の寄与度を合計すると、原則として、総合指数の前月比及び前年同月比 (%) の値に一致する。

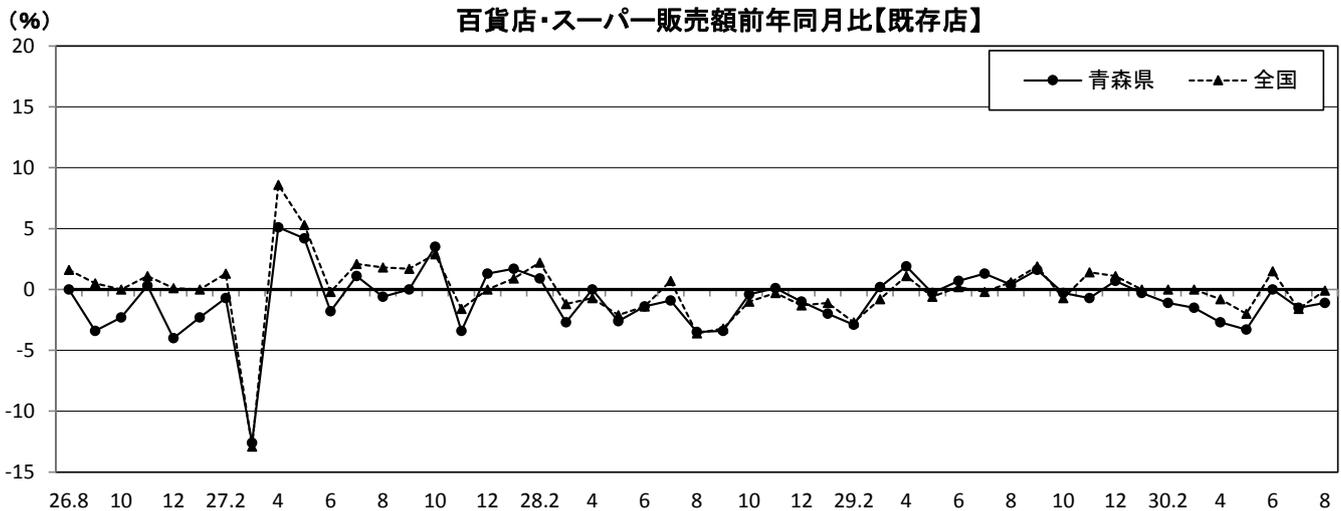
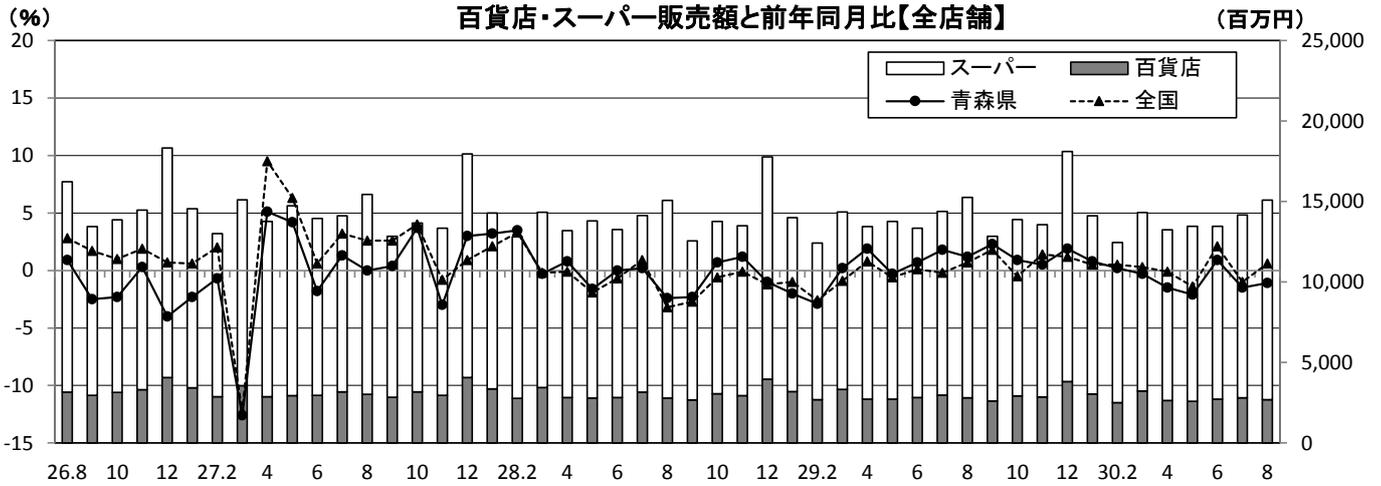
前月比、前年同月比及び寄与度は、端数処理前の指数値を用いて計算しているため、公表された指数値を用いて計算した値とは一致しない場合がある。

本資料は総務省統計局「小売物価統計調査」の調査票情報を独自集計したものである。

(2-4) 個人消費

(2-4-1) 百貨店・スーパー販売額

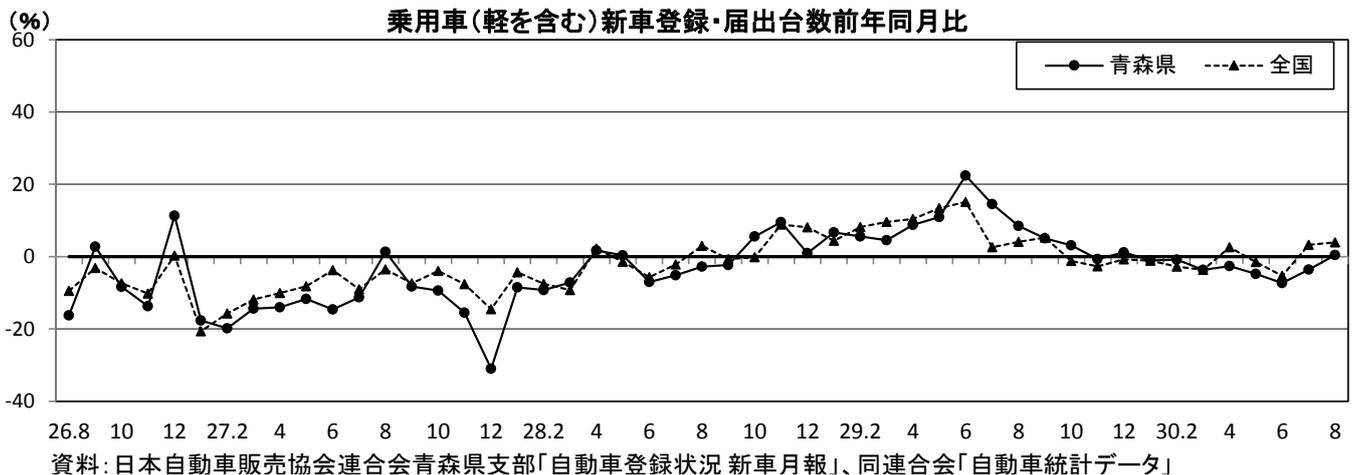
平成30年8月の百貨店・スーパー販売額は、全店舗ベースが151億円で前年同月比1.1%減となり、2カ月連続で前年同月を下回った。また、既存店ベースでも前年同月比1.1%減となり、2カ月連続で前年同月を下回った。



* 大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メートル以上の商店をいう。そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。

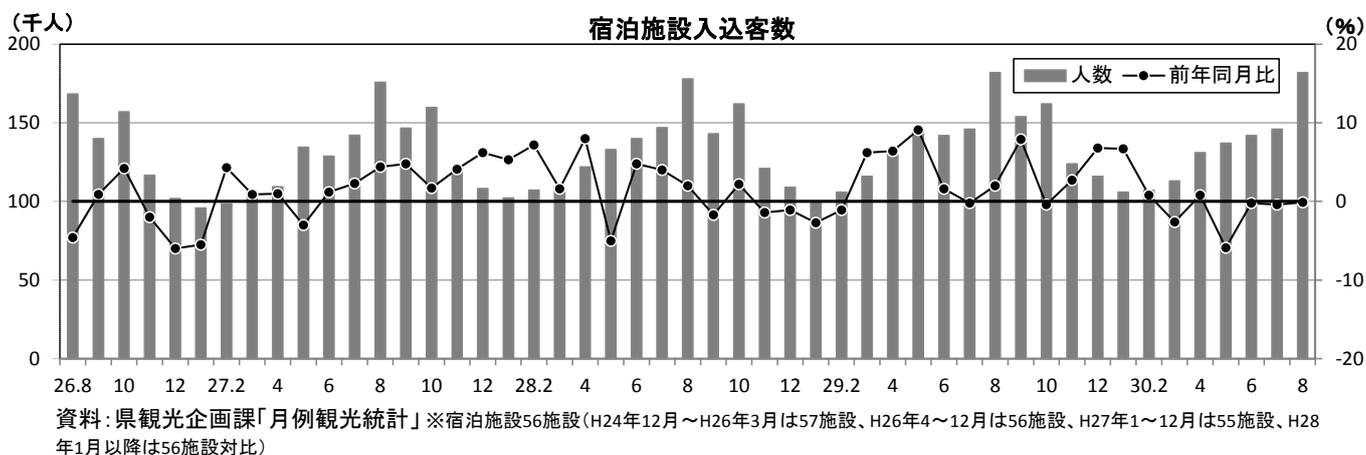
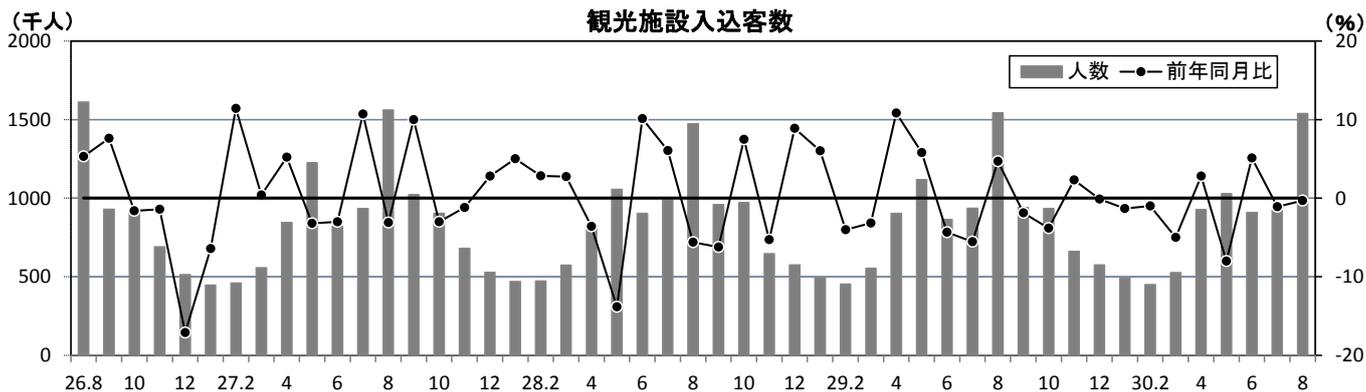
(2-4-2) 乗用車新車登録・届出台数

平成30年8月の軽乗用車を含めた乗用車新車登録・届出台数は2,931台で、前年同月比0.4%増となり、8カ月ぶりに前年同月を上回った。普通乗用車及び軽乗用車が増加したことによる。



(2-4-3) 観光入込客数

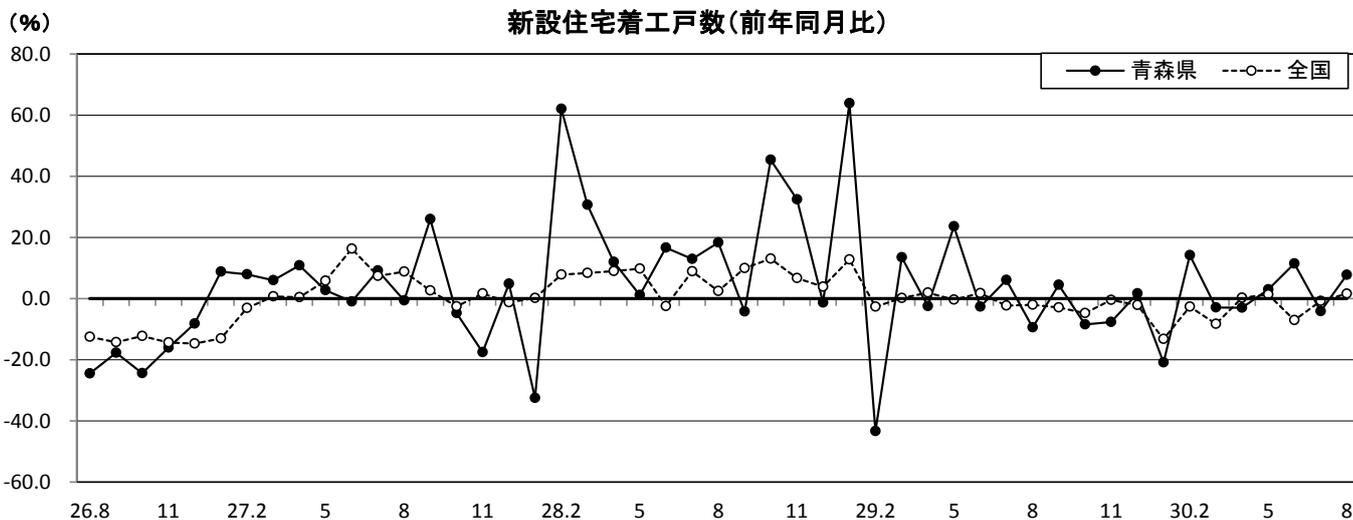
平成30年8月の観光入込客数は、主な観光施設が1,538千人で前年同月比0.3%減となり、2カ月連続で前年同月を下回った。また、主な宿泊施設は182千人で前年同月比0.1%減となり、4カ月連続で前年同月を下回った。観光施設は青森市、むつ市等の施設で減少し、宿泊施設は弘前市等の施設で減少したことによる。



(2-5) 建設

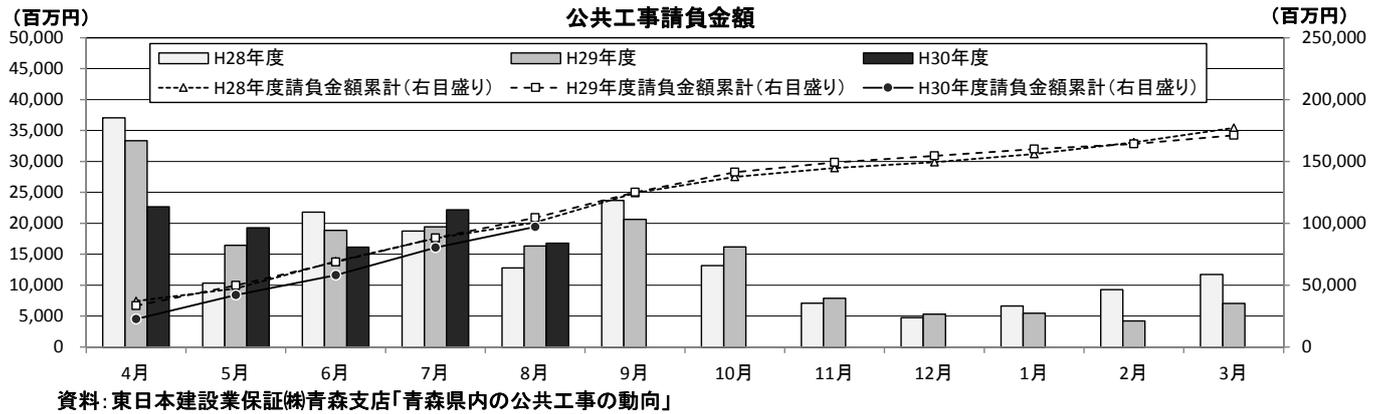
(2-5-1) 住宅建設

平成30年8月の新設住宅着工戸数は530戸で前年同月比7.7%増となり、2カ月ぶりに前年同月を上回った。持家、貸家が増加したことによる。



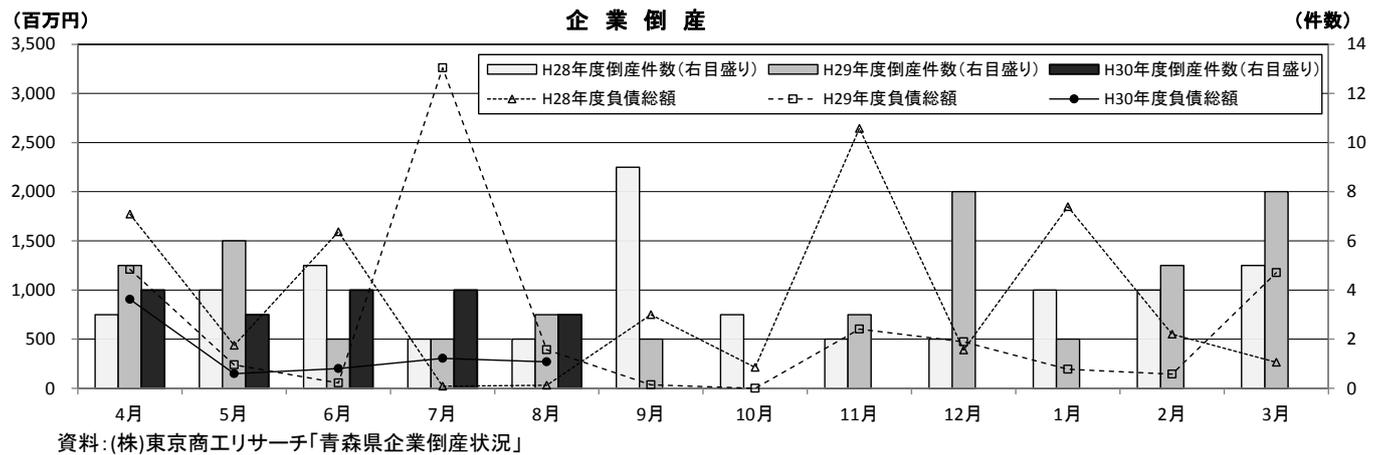
(2-5-2) 公共事業

平成30年8月の公共工事請負金額は167億9,100万円で前年同月比2.9%増となり、市町村などの増加により2カ月連続で前年同月を上回った。また、平成30年8月までの累計金額は970億5,400万円で前年同期比7.1%減となった。



(2-6) 企業倒産

平成30年8月の企業倒産は、件数は3件で前年同月と同水準となった。負債総額は2億6,900万円で前年同月比31.4%減となった。また、平成30年8月までの累計倒産件数は18件で前年同期と同水準、負債総額は18億2,800万円で前年同期比64.5%の減となった。



(3) 青森県景気動向指数

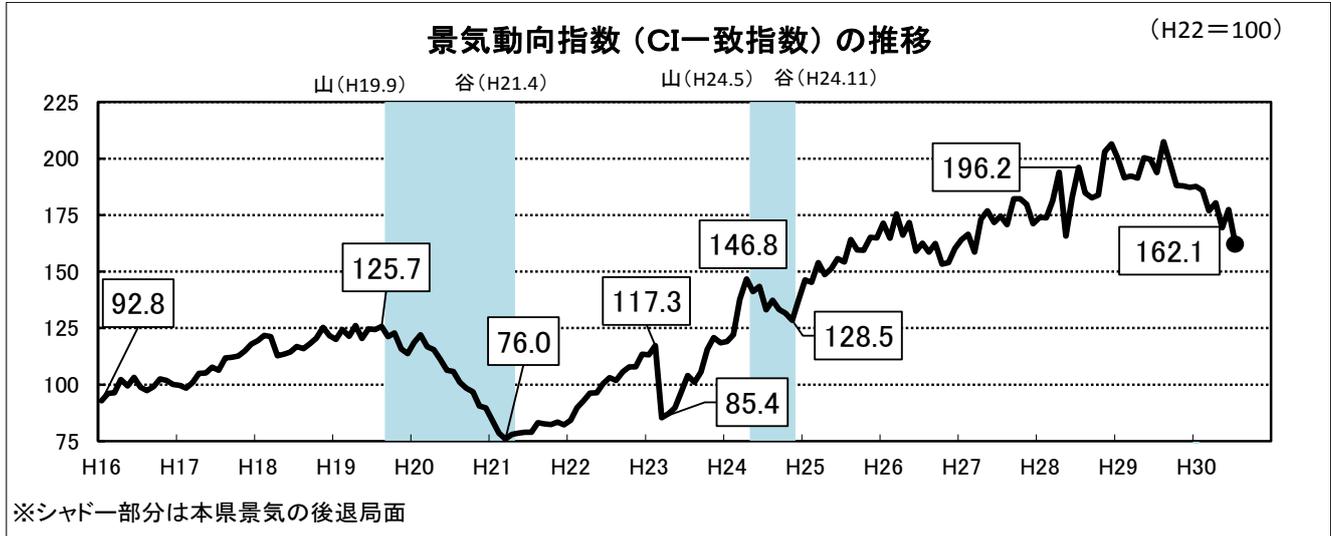
平成30年7月の青森県景気動向指数（C I）は、先行指数 121.7、一致指数 162.1、遅行指数 123.1 となった。

先行指数は、前月を 5.2 ポイント下回り、4 カ月連続で下降した。

一致指数は、前月を 15.3 ポイント下回り、2 カ月ぶりに下降した。

遅行指数は、前月を 2.5 ポイント上回り、2 カ月連続で上昇した。

7月の一致指数は生産・消費・物流関連の指数がマイナスになったことから下降した。



●個別系列の動き（各指標は季節調整等を行い、寄与度を前月と比較しています）

寄与度がプラスの指標			寄与度がマイナスの指標		
先行系列					
生産財生産指数	1.87	4カ月ぶり	新規求人倍率（全数）	-3.87	2カ月ぶり
乗用車新車登録届出台数	1.05	3カ月ぶり	企業倒産件数（逆サイクル）	-2.90	2カ月連続
中小企業景況DI	0.98	2カ月ぶり	日経商品指数（42種）	-2.06	3カ月連続
建築着工床面積	0.58	4カ月ぶり	新設住宅着工床面積	-1.02	4カ月ぶり
一致系列					
有効求人倍率（全数）	0.08	7カ月ぶり	投資財生産指数	-5.58	2カ月ぶり
			輸入通関実績（八戸港）	-3.26	4カ月ぶり
			所定外労働時間指数（全産業）	-3.05	2カ月連続
			鉱工業生産指数	-1.54	2カ月ぶり
			百貨店・スーパー販売額（既存店）	-0.99	2カ月ぶり
			旅行取扱高	-0.97	2カ月ぶり
遅行系列					
りんご消費地市場価格	1.31	2カ月ぶり	県内金融機関貸出残高	-0.63	3カ月連続
公共工事請負金額	1.08	2カ月ぶり	家計消費支出（勤労者世帯：実質）	-0.62	2カ月ぶり
常用雇用指数（全産業）	0.92	2カ月連続	有効求職者数（全数）	-0.27	2カ月ぶり
青森市消費者物価指数（総合）	0.57	5カ月ぶり			

(参考) 青森県景気動向指数（D I）

先行指数	37.5%	（2カ月ぶりに50%を下回った）
一致指数	14.3%	（4カ月ぶりに50%を下回った）
遅行指数	71.4%	（3カ月連続で50%を上回った）